



# ドリーム21

平成 29 年度 海田中学校区小中連携通信  
海田東小学校

## 4 年 2 組 国語科 話し合い名人になろう～話し合って考えをまとめよう～ 「クラスで話し合おう」

授業者 夏 純子

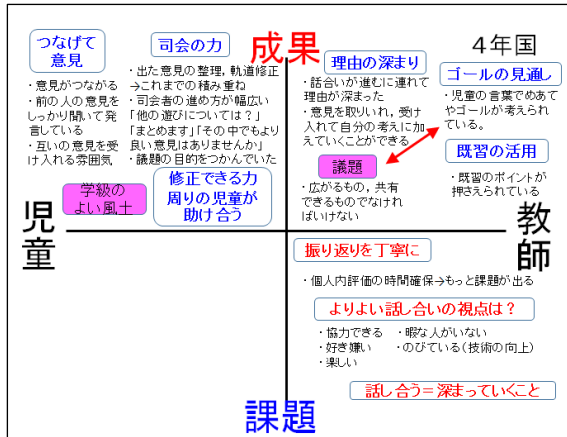
### 【成果】

- ・既習事項や虎の巻を活用しながら、話し合いが技術的に向上していた。
- ・友だちの発言を肯定的に受け止めることのできるあたたかい学級の雰囲気があることで、話し合いが深まった。
- ・話し合い終了後、児童の困ったところとその改善案を出すことにより、次の話し合いへとつなぐことができた。

### 【課題・改善】

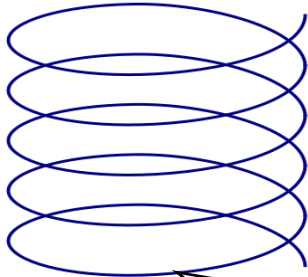
- ・児童の話し合いの声が小さい。学校全体で継続して取り組む必要がある。
- ・話し合った内容が消えていくので、ホワイトボード等を活用して内容を整理し、可視化していくこともできる。

### 【協議内容】



### 【指導助言】 広島大学大学院 難波 博孝教授

#### ○ 国語の学習のイメージ



#### 国語の学習は螺旋

国語は、小学校→中学校→高校…と同じ学習を立ち止まることなく何度も繰り返し行う。学年が上がるごとに議題は難しくなってくる。上から見ると同じようであるが、横から見ると、高まっている。



#### 算数の学習のイメージ



算数の学習は階段  
算数は、学習内容を積み上げていく。

国語の学習では、学びに向かう態度がなければならない。また、話し合いには、子どもも大人も同じように学習をしていかななくてはならない。協議会での話し合いの仕方はどうですか？話し合いの基本はできていますか？

【話し合いの基本】（4年2組の教室掲示より）

<p><b>発言者</b></p> <p>自分の意見とその理由を述べて発言する。</p> <p>友達の意見と自分の意見をくらべながら聞く発言する前に出た意見と、なげかけ発言にしている意見か整理しながらちがう意見か考える発言する分らないことは質問する。</p> <p>お宝言葉を使う。</p> <p>反応をしつかりと、はきりと伝わる声で、良いと思いたら受け入れる。</p>	<p><b>提案者</b></p> <p>提案することとその理由を分かりやすく話す。</p>	<p><b>司会者</b></p> <p>進行にそって話し合いを進める。議題から外れたら、もどす。次に進める前に、他に意見や質問がないかたしかめる。まとめている意見を整理する。</p>	<p><b>話し合いの進め方</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 議題をたしかめる。</li> <li>② 意見を出し合う。</li> <li>③ それぞれの意見について質問する。</li> <li>④ それぞれの意見について話し合う。</li> <li>⑤ 意見をまとめる。</li> </ol>
---	--	--	--

【本時の児童の様子から学ぶこと】

- ・話し合いで大事なことは、まず他者の意見を受け入れること。
- ・意見が詰まった時は、とりあえず友だちの考えを言ってみる。そこから話し合いがまた進む。

【話し合いをする力＝メタ認知力】

**ステップ①** 話し合いのビデオを見せる  
アリーナ方式（話し合いを周りから見る）

**ステップ②** 話し合いに集中させることにより、メタ認知の自動化を図る。

**ステップ③** 自動化されたメタ認知を働かせる。

【話し合いでの指導者の在り方】

- ・話し合いの時間をたっぷりとる。
- ・指導者は、各グループ平等にまわる。  
話し合いが始まったら、まずは全体を見る。全体的に話し合いがうまく進まない時は、指示をもう一度出す。
- ・指導者は、司会をサポートする。（司会が話し合いで一番孤独）  
指導者は、司会の後に座り見守る。

【全ての教科で使えるメモの取り方】三角ノート

**POINT**

友だちの発言のどれがきっかけで考えが変わったか、言葉をつないでいく。

③ 最後の考え	① 最初の考え
② 友だちの考え	

話し合いは消えていくので、自分の考えがどの言葉から変わっていったかを整理しながら、話し合いを深めていくことが大切。

友だちの考えはキーワードで記入させる。ノート作りに力を入れるのではなく、メモをとることに力を入れる。